

解答

《一》

問一 I □ II 二

問二 知らず知らずのうちにまわりの環境に影響されながら行動していること

問三 ハ

問四 目の前の情報に刺激されて行動し、本来やるはずのことを一時的に忘れてしまうこと。

問五 ホ

問六 買うつもりがなかったものをさまざまな視覚情報に刺激されて欲しいと思うことなく、あらかじめ決めたもののだけを買うこと。

問七 絶えず目に入ってきた視覚情報が途絶えたことにとまどい、何とかしてその情報を手に入れようと考えていたが、それらがなくても生活できるとわかって、認識しない視覚情報は求めなくてよいと考えるようになり、さまざまな情報に惑わされない安らぎを得たこと。

《二》

問一 I 閉口 II 固「まって」 III 危機 IV 破損 V 胸

問二 A ホ B イ C ハ

問三 二

問四 ホ

問五 やさしく正義感の強いユタカに感情移入をして、先生たちが好むような書き方をした自分と比べ、ユタカとアキラどちらにも肩入れせず、自由に自分の考えを書いたタオの感想文の方が正しいような気がしたから。

問六 タオには元々一目おいていたところに、読書感想文までもが自分とは差があると感じたため、タオと同じような読書経験を積むことによって、自分も成長したいと考えたから。

《三》

I ① 兆候 ② 暖冬 ③ 指針 ④ 博「した」 ⑤ 奮起

II ⑥ 警備 ⑦ 参拝 ⑧ 規模 ⑨ 皮相 ⑩ 降臨

⑪ 技艺 ⑫ 天守閣 ⑬ 旗色 ⑭ 検証 ⑮ 朗朗